

議会だより しらおか Shiraoka



2 P 平成 28 年度 一般会計・特別会計決算

6 P 平成 29 年度 補正予算

7 P 条 例

8 P 一般質問

16P 委員会活動報告

ふすま貼り替えます!

シルバー人材センター

No.197

2017.11.1

《9月定例会》

9月7日から10月3日までの27日間にわたって定例議会が開かれ、市長から提出された議案25件、議員提案1件を審議し、いずれも原案のとおり同意・可決・認定しました。

一般会計

平成28年度の主な事業

- ☆18歳まで子ども医療費助成の拡充
- ☆東第二児童クラブを整備
- ☆生涯学習センターの着工
- ☆小・中学校トイレ洋式化
- ☆西小学校の太陽光発電システム設置
- ☆菁莪小学校南校舎大規模改修工事
- ☆大学、企業と連携し新特産品開発
- ☆白岡駅西口線用地取得
- ☆新白岡7丁目に都市公園を整備
- ☆第5次白岡市総合振興計画後期基本計画を策定

問 実質収支は、5億円を超えている。住民の要求に積極的にきめ細かく対応していくべきでは。

答 事業の優先順位の明確化と取捨選択に努めるとともに、限られた予算の重点的かつ効率的な配分により、安心して暮らしやすい「白岡市」の実現に努めていく。

問 固定資産税の課税において、空き家などの理由で所有者不明のものは、どのくらいあるのか。

答 近年増えており、当市ではおよそ20件ある。

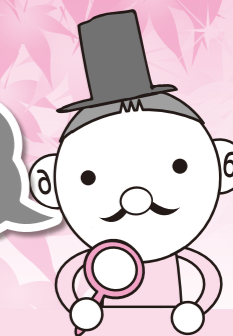
問 ふるさと納税について、8つの政策のうち、どの分野への寄附が一番多いのか。

答 福祉関係の寄附が一番多い。



平成28年度
一般会計決算

お金の使い方をチェック



歳入…146億669万8千円 歳出…139億4,523万1千円 差引額…6億6,146万7千円

※差引額には、29年度への繰越事業が含まれています。

問 選挙権が18歳以上に引き下げられたが、こういった取組を行ったか。

答 白岡高校に選挙公報を配布した。投票箱の貸し出しを行い、生徒会の選挙などに活用いただくなどの取組を行っている。

問 公共施設整備基金費は、今後この基金を積み立てていく計画はあるのか。

答 公共施設等マネジメント計画では、インフラ施設の維持管理に財源不足が見込まれるので、目標はないが、施設の整備に向けて積み立てていく。

問 耕作放棄地再生利用推進事業の執行率が低いのはなぜか。

答 22年～25年まで6反解消した。26年度以降は、担い手が見つからず、事業が実施できなかった。

問 側溝蓋掛け事業の未処理の件数は。

答 要望は87件のうち60件が完了している。また、一部完了が4件、未着手が22件となっている。

問 空き家対策事業のシステムでは、どういった内容がデータベース化されているのか。

答 建物ごとに、行政区、所在地、所有者などの住所、氏名、連絡先、危険度、相談対応の記録、建築課と合同で実施した建物調査結果などを空家ごとに入力している。



生涯学習センター

問 こども医療費の年齢拡大分の診療費は、決算額において何か月含まれているのか。

答 市への医療費の請求は、診療月の2か月後となるため、1か月分の診療分のみである。

問 老人クラブの入会要件は。

答 60歳以上が要件となる。老人クラブは22の団体から構成され、年会費は年1,200円から年2,400円まで団体によって異なる。

問 高齢者予防接種事業で当市のインフルエンザの該当者数は。

答 高齢者インフルエンザの該当者は、市内で約1万2,500人である。そのうち、44%から45%が接種している。

問 さわやか相談室相談員配置事業について、相談件数と相談の男女比は。

答 28年度の相談は、延べ919件で、電話での相談は54件である。この数字には、保護者からの相談も含まれている。中学生からの相談は、延べ800件くらいである。



反対討論

消費税は低所得者に負担の重い税です。消費税については、2年後に10%に引き上げることになっていますが、廃止ないしは引き下げよう国に働きかけるべきです。また、原発に頼らないエネルギー政策をもっと強化し、同和対策事業は一般行政に移行すべきです。

賛成討論

厳しい財政状況の中、市民福祉の増進を目指した行政サービスを執行する一方で、将来をみすえた各種基金への積立てを行い、今後の財政需要に対応できるように努めています。諸施策の執行においても経費削減に努めていると認めるものです。



平成 28 年度

特別会計

～国民健康保険～

問 国保加入者で日本国籍ではない方はどれくらいいるか。

答 国保加入者がいる世帯は90世帯、外国人の国保被保険者は162人である。

～後期高齢者医療～

問 資格証明書の発行実績はあるか。

答 28年度に資格証明書の発行実績はない。

反対討論

この制度は高齢者の医療費削減を狙ったもので75歳以上を別建ての保険制度に加入させるものです。運営主体が県の広域連合となっているため市民の声や議会の意向は反映しにくいものになっています。滞納による保険証取り上げの恐れもあり廃止すべきです。

賛成討論

後期高齢者医療制度は、現役世代と高齢者世代の医療費負担の明確化を図る観点から、75歳以上の方を対象として始まり、定着しています。今後医療費の増加が見込まれるなか、将来にわたるバランスのとれた運営を望まれるものです。よって、賛成の意を表します。

～介護保険～

問 地域支援事業費の内、介護予防・日常生活支援総合事業費の不用額が大きい理由は。

答 新しい総合事業への移行にともない、9月補正で対応したが、見込みより利用者が少なかった。身体介護のともなわないサービスであるため、利用者、ケアマネジャーともに利用に抵抗があったのではと考えられる。

反対討論

この制度は2000年から高齢者に対する介護サービスを一体的、効率的に提供し、社会

全体で支える制度として出発しました。しかし、度重なる制度改正が行われ、高い保険料と利用料を負担できない人々がいます。国が責任を持ってこの制度の改善を図るべきです。

賛成討論

要介護高齢者が増加する一方で、それを支える現役世代が減少傾向にあるなかで、介護保険料の収納率や法定負担分の財源もしっかり確保され、実施事業においても、介護予防や地域事業に意欲的に取り組んでおり、適正な執行がなされていると判断し、賛成します。

～農業集落排水～

問 処理施設の使用状況は。

答 29年3月末時点での接続率では、柴山地区処理施設で96%、大山地区処理施設で85%である。

～公共下水道～

問 収入未済額^{みさい}の詳細は。

答 受益者負担金の現年分については、収入未済額はなく、滞納繰越分は滞納整理の結果、収入未済となったものである。使用料の収入未済額については、約400万円であるが、主な要因は、3月検針分が納期限内に納付されなかったものである。

反対討論

この事業は、市街化区域内の住環境整備、河川の浄化を目的に進められている事業でこの推進は、市民の要望にこたえるものです。しかし、利用する市民に受益者負担金を課することは反対です。また、都市計画税の賦課による二重の負担もあります。

賛成討論

公共下水道の水洗化率は94.9%となり、自然環境の保全や生活環境の向上に寄与しています。受益者負担は法にもとづき税金のみではなく、利益を受ける方が一部を負っています。また、消費税も適法に処理されています。今後も着実な整備が必要と考え、賛成します。

～野牛・高岩土地区画整理～

問 一般保留地と特別保留地の売却単価は異なるのか。

答 特別保留地の単価については一般保留地の6割程度に設定している。



白石様堀公園

～白岡駅東部・中央土地区画整理～

問 保留地について、一般の取引価格と開きがあると考えたことはないか。

答 近傍の取引で高く売買することもあるが、不動産鑑定ではそれも含み価格を算定していることから適正であると考えている。

～水道事業～

問 県水受水費について、県水と井戸水の割合はどのくらいか。

答 28年度の割合は、県水が80.8%で残りが井戸水である。

問 市内金融機関には、ゆうちょ銀行もある。また、現在の金利より2倍から20倍で設定されている定期預金などを取り扱う金融機関がある。これからの市の発展を考えた選択肢もあるのでは。

答 安全性を最優先に考え、市内の金融機関に配慮しつつ、金融市場の動向に注視しながら、有利な資金運用に努めていく。

反対討論

水道事業は、給水人口も給水栓も年々増加し、有収率は向上していますが、より一層の漏水対策の強化が求められています。経理の状況も安定的に運用されていると見られますが、水道料には消費税が含まれており、この転嫁には反対する立場から決算認定に反対です。

賛成討論

水道は、市民生活や都市機能に欠かせない重要なライフラインであります。本事業は、計画的な設備更新と、災害に強い施設としての機能向上に努めている。安全で安心な水道水供給のため、適切な管理のもと効率的かつ良好に運営されており、本案に賛成します。



〈平成28年度決算・特別会計〉

区分		歳入	歳出	差引額
特別会計	国民健康保険	59億8,988万7千円	57億2,269万5千円	2億6,719万円3千円
	後期高齢者医療	5億4,614万8千円	5億4,034万2千円	580万6千円
	介護保険	31億2,882万9千円	28億8,788万4千円	2億4,094万5千円
	農業集落排水	8,192万円	7,753万4千円	438万5千円
	公共下水道	12億7,860万8千円	12億6,007万3千円	1,853万4千円
	区画整理			
	野牛・高岩	2億1,177万2千円	1億9,182万5千円	1,994万7千円
	白岡駅東部中央	2億3,807万6千円	2億3,485万5千円	322万1千円

水道事業会計 (消費税を含む)	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
	11億4,777万8千円	9億1,552万4千円	9,261万6千円	6億7,953万8千円

※千円未満を四捨五入しているため、差引額が一致していない場合があります。

平成 29 年度 一般会計補正予算

今回の補正予算は、予算総額に6,703万8千円を追加し総額150億7,151万9千円とするものです。

歳入の主なものは、県支出金、繰越金、諸収入、市債などを増額し、国庫支出金、繰入金を減額するものです。

歳出の主なものは、総務費、農林水産費、土木費、消防費、教育費を増額し、民生費を減額するものです。

問 臨時財政対策債を増額するということが、累積されていく現状をどう考えるか。

答 臨時財政対策債は元利償還金が交付税措置されるが、現在の市の財政状況を考えると全額発行せざるを得ない。

問 地域公共交通サービス構築事業の運転免許証の自主返納者に対する支援について、今回の補正を反映させると、合計何人分か。

答 当初予算で想定していた人数の倍の160人分となる。

問 土地改良施設維持管理適正化事業の対象施設は、どのような施設があるのか。

答 市内の対象となる施設は、揚水機関係で9か所、その他野田堰が1か所で、合計10か所である。



乗り合い交通

平成 29 年度 特別会計補正予算

国民健康保険

今回の補正予算は、予算総額に1億6,719万1千円を追加し、総額62億1,064万9千円とするものです。

歳入は繰越金を増額し、歳出は諸支出金・予備費を増額するものです。

後期高齢者医療

今回の補正予算は、予算総額に380万5千円を追加し、総額5億8,300万2千円とするものです。

歳入は繰越金を増額し、歳出は後期高齢者医療広域連合納付金・諸支出金を増額するものです。

介護保険

今回の補正予算は、予算総額に2億1,188万7千円を追加し、総額30億4,636万5千円とするものです。

歳入は保険料を減額、支払基金交付金・繰入金・繰越金を増額し、歳出は基金積立金・地域支援事業費・諸支出金を増額するものです。

問 現年度分普通徴収保険料の減額の要因は。

答 普通徴収保険料は、年金天引きされない方の保険料で全体の10%程度であるが、当初の想定より少なかったためと考える。

農業集落排水

今回の補正予算は、予算総額に338万5千円を追加し、予算総額を8,465万8千円とするものです。

問 農業集落排水処理施設、維持管理費の補正の詳細は。

答 修繕費については、柴山地区、大山地区両処理施設周りの法面の防草シートの張替えなどを行うものである。

工事請負費については、取付管2件の設置を予定している。

公共下水道

今回の補正予算は、予算総額に2,350万1千円を追加し、予算総額を10億3,998万1千円とするものです。

問 下水道費国庫補助金において、社会資本整備総合交付金が増額となったが、振り分け先はどの事業か。

答 雨水幹線・枝線整備事業および下水道施設改築更新事業であり、増額分は雨水幹線・枝線事業へ振り分けたものです。

野牛・高岩土地区画整理

今回の補正予算は、予算総額に1,451万5千円を追加し、予算総額を2,495万円とするものです。

白岡駅東部・中央土地区画整理

今回の補正予算は、増減同じです。

決算で繰越金が生じたことにより、繰入金金を減額したものです。

水道事業

今回の補正予算は、資本的収入を325万1千円増額し6,597万3千円とし、資本的支出で建設改良費290万円を増額し5億419万9千円とするものです。

問 6基の消火栓を老朽化のため交換することだが、耐用年数を過ぎているのか。

答 耐用年数を過ぎている。今後は、耐用年数に限らず、安全性を優先して更新に努めたい。

条 例

市一般職の任期付職員の採用等に関する条例

一定の期間に専門的な知識経験を必要とする業務、または一定の期間に終了もしくは業務量の増加が見込まれる業務などで、職員の任期を定めた採用および任期を定めて採用された職員の給与の特例に関し必要な事項を定めるため、新たに条例を制定するものです。

問 想定する職種は。

答 一時保育を定員まで受入れることができるよう、新たな保育士を確保するための手段の一つとして、任期付職員制度を活用することを想定している。

学童保育所条例の一部改正

西児童クラブの運営改善および保育需要に対応するため、新たに建設する学童保育所の設置にともない、名称、位置および定員を追加するものです。

財産の取得

生涯学習センターに設置する図書家具・備品、一般事務家具・備品およびカーテン一式を、石山商工株式会社より1億7,820万円で取得するものです。

問 取得金額が1億7,820万円だが、それぞれの物品単価はどうなっているのか。

答 入札の執行に当たっての予定価格は、まず購入対象物品を選定した上、見積りを徴取し、それらをもとに実勢価格などを考慮・積算し、市長が決定した。



生涯学習センター内部の様子

問 椅子、机、書架などの予備は、購入するのか。

答 基本的には、必要な数量購入する。ただし、書架の棚板は若干の予備を購入する。

Q&A

一般質問

市政のそこが聞きたい!

9月定例議会の一般質問は、14名の議員が36項目について行いました。

◆石原富子 議員

- 公用車の管理運用について
- 公共施設の管理、改修予定等について

◆細井 公 議員

- 男性不妊治療助成の拡充について
- 行政監督者の監督行為について

◆渡辺聡一郎 議員

- 駅前や市街地の活性化について
- 大山の自然を活かした観光戦略を

◆菱沼あゆ美 議員

- 防災について
- がん対策の向上について
- 公会計の取組について

◆松本栄一 議員

- 通学路の安全確保について
- 第5次総合振興計画における商業サービス施設の誘致について

◆黒須大一郎 議員

- 市制5周年を迎え市長の目指すもの
- 産業振興について

◆鬼久保二郎 議員

- 市内の公園について
- 総合運動公園のアスレチック広場の有効な使い方はないか

◆江原浩之 議員

- 小学校の英語教育について
- オータムフェス開催について

◆斎藤信治 議員

- 特別支援学級の対応について
- 障がい者施設等の安全対策について

◆関口昌男 議員

- 国民健康保険の都道府県単位化について
- 白岡市店舗・住宅リフォーム資金補助事業について
- 人事院勧告と市役所に働く労働者の給与改善について

◆大倉秀夫 議員

- 現図書館移転後の跡地利用について
- 中央公民館付近の冠水対策について
- 観光協会外壁の改修について

◆高木隆三 議員

- 母子健康情報サービスについて
- 改正住宅セーフティネット法について
- 外国人市民の言語サポートについて

◆遠藤 誠 議員

- 地域開発に関する民間の動向に対する市の対応について
- 市制5周年事業について
- 新規農業参入者について
- 梨組合への補助金について
- 使用料の見直し状況について
- デザインと市への愛着について

◆井上日出巳 議員

- 白岡中学校周辺区域における土地利用について
- 篠津北東部地域における大規模農地利用事業について

※ 1人につき2項目までを要約して掲載しています。

問 公用車の効率的な管理運営を望む

68台の公用車はどのように管理運営されているか。稼働率はどうか。過不足はないか。また車両保険、任意保険などの更新時や車両入れ替えの際は見積り合わせをして比較検討しているか。公用車の維持・管理・運用は、税金の適正な使い方からも重要である。

答 公用車の適切な管理運用に努めている

公用車の運用や更新など管理部分は、財政課で集中管理をしている。ほぼ全車両が稼働しているが業務に支障は生じていないものと認識している。保険も毎年度更新を行い選定時には数社から見積りを徴し、保険内容などを確認後に一番安価な保険者を選定している。



石原富子 議員
(開白会)



市公用車

問 公共施設の管理と改修予定は

市内の多数の公共施設は今後一気に老朽化し大規模改修が必要になってくる。中央公民館は築39年、コミセンは築34年経過している。これらの施設の維持管理に関し、今後財政的にも厳しくなる中、きちんと中期計画を立てて将来に備えるべきではないか。

答 中長期的視点に立ち計画的に行っていく

厳しい財政状況であるが、これらの公共施設などが安全に、市民サービスの低下を招かないよう、公共施設などのマネジメントを推進していく。「白岡市公共施設等総合管理計画」を踏まえ、各施設の個別計画を策定し、計画的な保全措置を講じ長寿命化を図る。



細井 公 議員
(白新会)

問 男性不妊治療助成の
拡充は

WHOの調査では不妊治療カップルの約半数は男性側にも原因があるというが、男性不妊治療に関する理解はまだ十分とはいえない。市でも男性不妊治療助成金を出しているが、女性不妊より助成金の支給金額が低く設定されているが、考えを伺う。

答 現在の助成額で事業を
継続する予定

市の助成は、県の助成事業に上乗せした形で実施しており、現時点では現在の助成額で事業を継続する予定である。また、若いうちから妊娠・不妊に関する理解が深まるよう成人式において啓発冊子を配布し、正しい知識の提供を進めていく。

問 行政監督者の監督行為は

6月定例議会の一般質問で防災情報板や自転車放置禁止区域表示板などの問題を取り上げた。その後修正作業が行われたが「白岡町」の表示のまま残っているものがある。同じ内容で一度で終わる仕事に何度も手間をかける無駄が生じていることをどう思うか。

答 現地確認し修正を行った

一部の看板などに白岡町の表示が残っていたため、早急に現地を確認し、「町」の表示が残っていた箇所の修正を行った。



渡辺聡一郎 議員
(創政会)

問 駅周辺や市街地の
活性化が必要だ

白岡は典型的なベッドタウンであり駅や市街地に活気が少ない。専門家を交えて駅周辺のエリアプロデュースを行い、魅力ある店舗の誘致や商店街の計画づくりを進めては。新白岡駅周辺も開発事業者などと市が協議を行い、活性化を図ることが重要ではないか。

答 地域経済の活性化を
図っていく

エリアプロデュースは、先進自治体で実施されている情報を収集していく。商工会などのイベントが持続的に店舗売上につながるよう、地域商業の活性化策を考えていく。新白岡駅周辺は、賑わいのある商業空間が形成されるよう企業の相談などに対応し誘致を図る。

問 大山地域の自然を
活かした観光政策を

大山地域の自然を活かした観光政策を積極的に進めていくべきだ。グリーンツーリズムや柴山沼の魅力を引き出す観光整備を進めていく考えはあるか。122号周辺の土地利用については柴山沼などと一体とした将来像を描き、計画を前進させる事が必要ではないか。

答 人を呼び込む事業を
展開していく

大山地域には柴山沼があり、魚釣りや四季の花など自然を満喫することができる。観光整備に向けて先進地事例など情報を収集していく。また、関係地権者に将来の土地利用についてアンケート調査を実施し、その結果を踏まえ、まちづくりを進める。



白岡駅西口

問 防災のさらなる備えは

自助・共助・公助の強化が大切である。地域人材としての女性防災リーダーの推進を、具体的にできないか。災害廃棄物置場とタイムラインは、どうなっているか。公園は災害時に拠点にもなる。かまどベンチや、マンホールトイレなどの防災機能をプラスしては。

答 今後も継続し、強化充実させていく

防災への女性の参画を支援し、自助・共助の強化に努めていく。公助の強化としては、災害廃棄物置場として市有地から11か所を選定した外、洪水時におけるタイムラインのさらなる充実を図っていく。また、公園への防災機能付加についても今後検討していく。



菱沼あゆ美 議員
(公明党)



かまどベンチ

問 がん対策の向上を

がん検診率の最近の傾向は、どうなっているか。受診率アップのために、キャンペーン時などに合わせたPRや、PTA保護者への啓発を考えてはどうか。また、将来をみすえ、子どもたちへのがん教育が重要と考えるが、取組状況を伺う。

答 体制整備に努め、健康教育の推進を図る

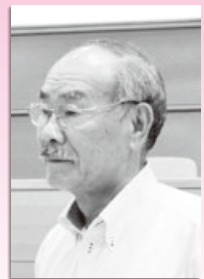
受診者数は、おおむね増加している。今後も対象者へ情報が届くよう、啓発活動の見直しや、実施体制の整備に努めていく。学校では病気の予防や生活習慣の確立など、がんについて健康教育の一環として行っている。今後もがん教育を含む健康教育の推進を図る。

問 通学路の安全確保を

各小中学校の通学路においての白線およびグリーンベルトの設置条件、年間設置計画はどのようになっているか。また、通学路が朝の出勤時の自動車などの抜け道と交差する場所があり、大変危険である。横断歩道や学童横断注意の看板など設置する考えはないか。

答 緊急性の高い箇所を優先し設置していく

通学路の白線やグリーンベルトは、通学路点検の結果にもとづき、緊急性が高い箇所を優先し順次設置していく。今年度の整備計画は、白線を約1,500m、グリーンベルトを約600m予定している。交通安全看板は、行政区などからの要望にもとづき設置していく。



松本栄一 議員
(創政会)



通学時の様子

問 第5次総合振興計画の 菁莪地域活性化は

県道春日部菖蒲線の沿道について商業サービス施設の誘導を図っているが、県の事業である岡泉調節池の整備が進んでいる。その周辺を水辺の公園などに整備して菁莪地域、さらには市民の憩いの場とし、商業サービス施設誘致の起爆剤とする考えはないか。

答 さまざまな角度から研究していく

菁莪地域の活性化のための、県道春日部菖蒲線沿線への商業施設の誘導については、岡泉調節池周辺の環境整備も、起爆剤のひとつの手法に含めながら、さまざまな角度から研究していく。



黒須大一郎 議員
(隼人)

問 市制5周年を迎え
市長の目指すもの

2014年版初登場県内1位も、年々住みよさランキングを下げてい
る。5周年に当たり目指すものは。
また、良い時だけでなく公表し、
客観的な行政評価の参考とすべし。
慶應大SFC研究所の白岡美人
コンテストや通園型体験農場など
の提言を順次事業化していくのか。

答 市民主体の魅力ある
まちづくりを進める

市民主体のまちづくりを進める
ため、住みよさランキングに一喜
一憂することなく、施策の実現に
向けて鋭意取り組んでいく。慶應
大学から提言された地域活性化策
については、白岡元気プロジェクト
の事業として選定されたものか
ら優先的に実施する。

問 疾風の地元経済
勁草を見つけ育め

人口増なのに駅前からファース
トフード店がなくなった。低迷す
る地域経済は、なぜなのか。目途
が立たない駅前整備か。産業団地
が生む経済波及効果を楽しむ
環境整備ができていないからでは。
市には、これまでにない目利
きと呼ぶ新風とその結果を求める。

答 地域経済の発展を
図っていく

白岡駅西口地域は、関係権利者
の事情などを考慮しながら早期の
整備に取り組む。産業団地も含め、
白岡市商工会の未加入者に対し、
引き続き働きかけを行う。まちの
にぎわいが向上するよう、優良企
業の誘致、商店街の活性化など、
地域経済の発展を図っていく。



白岡町合併5周年記念
(文書資料室提供)



鬼久保二郎 議員
(市民クラブ)

問 市街化区域に都市公園を
造るべきでは

約40年都市計画税を課されてい
る一部地域にある沖山児童遊園は、
今現在狭く、遊具も少なく大人か
ら幼児が利用するのに不便なまま
である。今後他に沖山児童遊園に
替わる場所に新しく作る予定はな
いのか。子育てに優しい街づくり
の点からもいかがか。

答 計画的な整備に
取り組んでいく

今後の公園整備については、ま
ず、区画整理で配置された未整備
公園の整備を計画的に進めていく
とともに、新たな公園については、
市内の公園配置状況などを勘案し
ながら計画的な整備に取り組んで
いく。

問 総合運動公園内の
アスレチック広場は

運動公園のアスレチック広場の
目的は、市民全員の遊び場と運動
施設として造られたと思う。現状
を見ると幼児や小学生低学年が利
用するには少し不適切に思われる。
20年以上前に開園したと思うが、
幼児から中高年が利用できる広場
に改修する予定はないか。

答 利用者の声を
反映させていく

都市公園長寿命化修繕計画を今
年度に作成しており、計画にもと
づき各施設の修繕を実施してい
く予定でいる。総合運動公園内の各
施設についても総合的に検討して
いくとともに、利用者アンケート
を実施するなど、利用者の声を改
修案に反映させていく予定である。



問 小学校の英語教育は

今年度より、南中学校の英語教員が、南小学校に配置され5年生、6年生を中心に英語を教えている。

この「Jプラン」施策についての成果は。また、英語の免許を持っていない小学校教員が、自信を持って英語指導できるよう、どのように取り組んでいくのか。

答 英語教育の教科化に向け研究を進める

今年度から英語教員による人事交流を行い、小中学校9年間をみすえた英語教育の在り方や指導方法の研究を進めているところである。教員の授業力向上については、研修会の実施、先進的な事例を視察するなどの支援を行っていく。



江原浩之 議員
(隼人)

問 オータムフェス開催は

まつりやイベントは、参加を通し、市民相互の交流と連帯が強まり、コミュニケーションの醸成が図られる。オータムフェスの開催に向けた取組状況は。次に、オータムフェス実行委員会を設置してはどうか。今後どのように、オータムフェスに取り組むのか。

答 市民の機運に応じて検討する

今年度は、しらおか農業祭、シルバーまつりおよび社会福祉協議会まつりの3つを同日開催する。当面は、同日に開催できる祭りなどは同日に開催し、市民の機運が高まってきたら、実施団体の意見を伺い、市全体として秋の祭りを統合する方向性が良いと考える。



問 開かれた特別支援学級に

特別支援学級を担当する先生の資質向上を。健常な児童・生徒や他学級の先生などが気軽に見られる開かれた学級に。交流学習会の公開を。障がい者を孤立させないで、可能な限り親教室との触れ合いを。偏見や差別の解消は、障がいを隠さないことから始まるから。

答 よりいっそう開かれた学級を目指す

特別支援学級担任を含めた市内全教職員が特別支援教育の研修を受け、資質の向上に努める。また児童生徒の実態に応じ、通常学級での授業を通して交流を深めるなど、ふれあいを大切にする。さらに、学校公開、特別支援学級の見学などで開かれた学級を目指す。



斎藤信治 議員
(開白会)

問 障がい者施設などの安全対策を

昨年7月、相模原市で痛ましい事件があった。障がい者施設などの安全対策は、できているか。障害者差別解消法に従った、障がい者への差別・偏見をなくす施策は進んでいるか。また、障害者差別解消支援地域協議会の設置作業の進捗はいかがか。

答 県や施設と連携し安全管理に努めていく

危機管理マニュアル策定の徹底などにより、障害者支援施設の安全対策に努めていく。障がい者差別については調査を実施し、今後の障がい者支援の施策に反映していく。障害者差別解消支援地域協議会は、平成30年度に広域での設置を目指している。



外務省ホームページより



関口昌男 議員
(日本共産党)

問 人事院勧告と職員の給与改善は

人事院勧告が8月に出されたがこの内容と、市としての対応は。また、臨時職員などに適応される最低賃金の引上げの答申も出たがどのように対応するのか。さらに臨時職員には賃金以外の処遇の改善も必要だがどのように検討しているのか。

答 給与改定、賃金の引上げなどを実施する

人事院勧告を受け、国会での法改正後に、当市の職員に係る給与改正条例を速やかに議会定例会に上程する。

また、埼玉県の最低賃金の引上げにともない、当市における臨時職員の賃金を上げるほか、来年度から通勤手当の支給を実施する。

問 国民健康保険の都道府県単位化の状況は

国民健康保険の都道府県単位化が来年から始まるが県との協議の進行状況は。この問題で大切なことは国民皆保険制度のセーフティネットの役割を持っている制度の安定運営だ。この制度を守るために繰入金なども必要と考えるが対応をどのように検討しているか。

答 制度改正に適切に対応していく

埼玉縣市町村国保広域化等推進会議において国保事業費納付金など、制度改正にかかる協議を進めている。いわゆる法定外繰入については、税負担の公平性、医療費の推移や国保運営方針との整合および当市の財政状況を総合的に勘案し適切に対応していく。



大倉秀夫 議員
(白新会)

問 中央公民館付近の冠水対策は

毎年台風シーズンになると集中豪雨で中央公民館西側から南方向の交差点が冠水する。道路中央部分に下水のヒューム管が埋設してあるがとてもはける状態ではない。公民館西側市道部分片側だけでもU字溝を敷設し雨水だけ黒沼用水に流せるような工事はできないか。

答 既存施設の適正管理に努める

黒沼用水路への雨水放流については、農業用水路であることから、むずかしい状況である。

今後は、排水施設の点検や清掃による維持管理を実施するとともに、土地区画整理事業および下水道計画により、改善が図られると考える。

問 観光協会外壁の改修は

教育支援センター、保健センター分館、観光協会に使われている建物が非常に景観が悪く醜怪帯びている。築37年になるので老朽化も進んでいるが、付近の建物が新しく奇麗なので目に付く状態である。当初予算の時でもあるので外壁だけでも塗装してはどうか。

答 点検確認後に必要な修繕を実施する

市の保有する公共施設などについては、保健センター分館同様に老朽化が進んでいる状況である。限られた予算の中で優先度の高い順から修繕などの対策をしていく必要がある。今後、早急に点検確認を実施した上で、外壁の塗装を含む必要な修繕を検討していく。



保健センター分館

問 母子健康情報サービスを

パソコンを使って、妊婦検診や乳幼児健診の記録、予防接種の履歴、妊娠週数や子どもの年齢に合わせたお役立ち情報など、外出時や緊急時に、母子手帳を忘れてもスマホを持っていれば、病院などに提示できる必要な情報を届けるサービスを実施してはどうか。

答 情報発信に関して動向を注視していく

妊娠期から子育て期のご家族に直接会い、必要な情報を伝えるなど寄り添ったかたちで個別に対応している。また、サービスなどの情報は広報やチラシなどで案内しており、現時点で必要性はうすいとする。しかし、この分野は急成長しており注視していく。



高木隆三 議員
(公明党)

問 住宅セーフティネット法の取組は

民間の空家・空室を活用し住宅の確保が困難な高齢者、低所得者、障がい者の入居を支援する改正住宅セーフティネット法が成立可決した。①改正を受けての考えは。②高齢化で、単身世帯は増える。県の登録制度や自治体の居住支援協議会を設置しては。

答 安心・安全な居住の確保に努めていく

住宅確保要配慮者に対し、きめ細やかな対応ができるよう、相談体制の充実や、空家などの活用の促進を図り、安心・安全な居住の確保に努めていく。また、市民の需要に応じて居住支援協議会の設置について協議を行い、効果的な支援に努めていく。



マタニティマーク

問 開発業者に対する市の対応は

なぜ業者の説明会に出ないのか。現状はすでに臨界に来ている。早急に業者に対応し、望ましい土地利用に誘導すべきではないか。多様な主体による開発が望ましいのではないか。

答 提案を尊重しながら適切に対応していく

説明会は企業が独自で企画している。市が出席することにより出席者の誤解を招く懸念がある。その都度内容の把握は行っている。開発主体の多様化の必要性は認識している。市全体の土地利用のバランスなどを考慮しながら企業の提案は尊重し適切に対応していく。



遠藤 誠 議員
(無所属)



市制施行5周年記念式典

問 市制5周年事業は

功労者顕彰は公務員OBや公職中心ではないのか。過去を振り返るのではなく、未来を志向するような催しを市民中心で行うべきではないか。公務経験者を中心にセレモニーをすることはそろそろ止めたらいかかが。

答 市民とともに祝い、未来へ踏み出す

市制施行5周年記念式典については、市政進展に多大な功績があった市民を表彰する一方、親善大使の委嘱、公募による道路愛称の発表、白岡こども・ゆめ・みらいプロジェクトスタート宣言などにより、未来に向けた一歩を市民とともに踏み出す契機と考えている。



井上日出巳 議員
(創政会)

問 白岡中学校周辺区域の
土地利用は

人口減少、超高齢社会を迎える中で、新たな市街地の拡大は容易ではないと思う。現在、市外へ流出している雇用、消費、娯楽などを市内でまかない、逆に市外から人を呼び込めるように、当該区域と白岡駅西口周辺地域の同時一体的な整備が必要と考えるがどうか。

答 白岡駅西口地域と
一体的に整備を進める

市の顔である白岡駅西口の駅前広場と都市計画道路白岡駅西口線の整備を進めるとともに、現在、駅前に求められている街の機能と新市街地に求められる大型集客施設の機能を実現するための「まちなぎわい創出プロジェクト」を同時に進めていく。

問 篠津北東部地域の
農地利用事業は

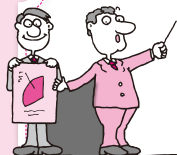
本年7月、事業計画者が2回目の関係者説明会を行った。市は、2度の説明会にも出席せず、積極的な対応が見られない。6次産業化のこの計画自体は良い計画だと思う。問題や懸念があるのであれば、質問して指導すべきではないか。この農地をどう保全するのか。

答 農地中間管理機構を
活用し保全する

事業者は大規模圃場での農業の実績がなく、農地法の基準が満たされているのかなど、実現可能性に困難なところがある。今後は、打合せなどの場を持ち、必要な指導などを行っていく。また、農地中間管理機構などの活用により農地として保全に努めていく。



篠津北東部地域



県4区議長会議員研修会

7月11日 久喜市

「人口減少時代における地域活性化」～シティプロモーションの視点から～

東海大学文学部広報メディア学科の河井孝仁氏を講師に迎え、講演が行われました。

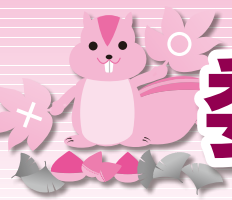
講演では、人は自分が幸せになるために、まちに住んでいるのではといった視点から、どのような人が幸せになれるまちなのかということを念頭に置き、地域魅力の創造をしたり、その情報発信を強化する必要性が示されました。

まちの空気や雰囲気言葉を言葉にすることで、誰にとってしっくりくるまちなのか、どんな人が共感できるまちなのかということブランドメッセージとして発信し、ブランドとして提起することで、地域魅力創造サイクルを実現させることができるということでした。

シティプロモーションをするにあたっては、ターゲットが誰なのかを明確にし、市民を信頼させ、共感させることで、市民が情報を発信してくれるようになり、シティプロモーションにつながります。市民が伝えたい気持ちは起こさせることが、ブランド浸透のための情報共有促進には必要であり、今後のシティプロモーションの方向性を示してくれる講演会になりました。



講演する河井氏



委員会報告

先進地などへ視察調査

総務常任委員会

大山・菁莪地域の活性化推進について

7月28日 ————— 企画政策課

市では、第5次総合振興計画基本構想の重点プロジェクトとして、「地域活性化プロジェクト」を新たに位置づけ、今年度から、大山地域・菁莪地域における地域活動の活性化と生活利便性の向上を図り、定住人口の維持・確保および市内外からの交流人口の増加を目指しています。

両地域については、少子高齢化、小・中学校の児童生徒数の減少、買物難民、地域活動の人出不足、農地の荒廃などの共通の課題があります。

このような状況の中、外部の新たな視点から地域の資源や魅力を発見するという意味において、大学との連携による「大山・菁莪地域活性化事業」に期待します。

また、市民自らが地域課題の解決策を考え、実践するノウハウを身につける「実践的地域活性化人材育成研修」にも期待するところです。

一時的な活性化を目指すのではなく、両地域の明確な将来像を描き、市民・大学・行政・議会が役割を分担しながら、継続して地域の活性化に取り組んでいくことが重要であると考えます。



企画政策課から説明を受ける

産業建設常任委員会

商業施設を利用した地域の活性化について

7月14日 ————— 深谷市



道の駅 はなぞの

深谷市の「道の駅はなぞの」内にある地域物産館アルエットは、8年度から9年度にかけて、農業農村活性化農業構造改善事業として建設されたものです。

地域で生産された各種物産の紹介、地域の祭事に使用される山車だしの展示、食の体験などを行い、生産者と地域住民、物産館を訪れる都市部住民などの交流の場になっています。

29年5月、施設の老朽化・利用者の減少から、ふっかちゃんミュージアムを新設するなど時代に即したものにリニューアルオープンしました。

このことから物産館のみならず、道の駅のほかの施設の来場者も増加に転じ、賑わいを見せています。

白岡市においても、味彩センター、物産館などの商業施設があるものの、売り上げ、来客数ともに伸び悩んでいる状況です。

「道の駅はなぞの」の取組である、体験型農業施設の設置、6次産業化取組への支援、イベントなどによる集客力の強化など当市の実情に即した取組を取り入れ、商業施設の発展とともに地域の活性化に結び付けていくことが可能と考えます。

焼津市では、母子健康保健の取組として、いつでも親同士が交流できる体制、安心して相談できる体制の充実を図ることを目指して事業を実施しています。

事業のひとつとして、スマートフォンにアプリをインストールし、母子健康手帳とあわせて、出産・子育て環境をサポートすることができる母子健康情報サービスの取組があります。このサービスは、マイナンバーカードを活用し、母子手帳をデジタル化したもので、官民連携で開発し、提供をしているものです。

現在の登録利用者は19名です。マイナンバーを使うか使わないかで登録利用者数にも大きな影響を与えるので、導入検討にあたっての課題であることが分かりました。

しかし、これからの子育て世代の親達のことを考えると、この情報サービスは便利です。徐々にこのようなサービスを提供している自治体が増加してい



焼津市保健センター



富士ハーネス

ることからも、これからの子育て支援サービスとして期待したいです。

富士宮市の

日本盲導犬総合センター（盲導犬の里富士ハーネス）は、日本盲導犬協会が、慢性的な盲導犬不足を解消し、待機者0を目指して開設しました。施設では、生まれた子犬を立派な盲導犬に育て、視覚障がい者のかたが安心して外出できるよう、時間をかけて訓練するだけでなく、役目を終えた老犬が余生を穏やかにすごすことができるような環境が整っています。

ここで、育成している盲導犬は、障がいを持つ人々にとって、大切なパートナーです。そのような人々が社会復帰するにあたり、盲導犬の果たす役割と、施設の大切さを実感することができました。

視覚障がい者の皆さんが、日ごろから安心して外出できる社会を一日でも早く構築していかなければならないと改めて感じました。

【北朝鮮の弾道ミサイル発射等に抗議し、とりわけ米朝対話による問題の平和的解決に関する決議】

我が国を始めとした関係諸国、そして国際社会は、これまで朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）に対し、国連安全保障理事会決議等の完全な遵守を求め、核実験の実施や弾道ミサイルの発射等の挑発行為を行わないよう強く求めてきたところである。

しかしながら、北朝鮮は、8月29日に我が国、北海道上空を通過させる中距離弾道ミサイルを予告なく発射させ、9月3日に6回目となる核実験の強行、さらに、9月15日にも弾道ミサイル1発を発射させ、北海道上空を通過させ、襟裳岬の東約2,200キロメートルの太平洋上に落下させた。

こうした国連安全保障理事会決議等に反する行為は、我が国を始め、アジア・太平洋地域の

平和と安全に重大かつ深刻な脅威を与えるものであり、決して容認することはできない。

よって、本市議会は、北朝鮮のミサイル発射及び核実験に対し、厳重に抗議するとともに、世界の恒久平和と東アジアの平和と安定を願い、国連安全保障理事会の決議を遵守し、核及び弾道ミサイル計画の即時放棄、及び、とりわけ米朝両国の直接対話を通じた平和的・包括的な解決が図られるよう強く求めるものである。

以上、決議する。

平成29年10月3日
埼玉県白岡市議会

《 9月定例議会の審議結果 》

(○：賛成 ×：反対)

議席番号・議員名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決結果		
件名		井上日出巳	渡辺聡一郎	関口昌男	齋藤信治	松本栄一	細井公	大島勉	遠藤誠	黒須大一郎	大高馨	鬼久保二郎	野口克博	石原富子	大倉秀夫	江原浩之	菱沼あゆ美	高木隆三	藤井栄一郎			
固定資産評価審査委員会委員の選任		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
教育委員会委員の任命		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
一般職の任期付職員採用等に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
学童保育所条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
財産の取得		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
市道路線の認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
平成29年度	一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	野牛・高岩土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	白岡駅東部中央土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成28年度	一般会計歳入歳出決算認定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定	
	国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定	
	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定	
	介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定	
	農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定	
	公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定	
	野牛・高岩土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定	
	白岡駅東部中央土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定	
水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決及び認定		
北朝鮮の弾道ミサイル発射等に抗議し、とりわけ米朝対話による問題の平和的解決に関する決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	

※ 18番 藤井栄一郎議員は議長のため、採決には加わっていません。

議会日誌

8月

31日 埼玉東部消防組合の臨時議会

9月

1日 議会運営委員会
7日 第3回議会定例会
11日 第3回議会定例会
12日 第3回議会定例会
13日 第3回議会定例会
15日 第3回議会定例会 議会広報常任委員会

20日 文教厚生常任委員会
21日 産業建設常任委員会
22日 総務常任委員会
25日 文教厚生常任委員会
26日 産業建設常任委員会
27日 総務常任委員会

10月

3日 議会運営委員会 第3回議会定例会
5日 議会広報常任委員会

6日 蓮田白岡衛生組合議会の定例議会
11・12日 産業建設常任委員会所管事務調査
13日 議会広報常任委員会
17日 埼玉東部消防組合の定例議会
23・24日 総務常任委員会所管事務調査
25日 埼玉東部消防組合の定例議会
26日 全員協議会

編集後記

市制施行5周年を迎えて、人口も着実に増加しています。私達の住む白岡は長年大きな災害もなく、毎日平穏無事に時が流れている日々感謝する毎日です。

(鬼久保)

議会広報常任委員会
委員長 大島 勉
副委員長 齋藤 信治
委員 高木 隆三
委員 鬼久保二郎
委員 黒須大一郎
委員 細井 公
委員 関口 昌男

9月定例議会傍聴者数

市内 64名 市外 3名 合計 67名

次回の定例会は

11月30日(木) 開会予定です。